

旧萩藩御船倉

萩城を築城したとき、毛利家は、領地を陸だけでなく、海からの攻撃からも守れるようにしなければならぬことを理解していた。毛利家には船が必要であり、船を安全に保管する場所が必要だった。

「旧萩藩御船倉」（別名「旧船小屋」）は、1600年代の最初の数十年に建てられた。堂々とした石垣と厚い木製の扉は、城塞に似つかわしくない建物である。厚さ 6 メートルの壁には、対岸にある笠山や大島や相島から採取された安山岩が使用されている。

御船倉の全長である母屋梁は 26.9m。入口に平行に走る梁は幅 8.8 メートル。高さは 8.8m で、重厚な瓦屋根に覆われている。扉は頑丈な黒松で作られている。

御船倉はかつて海に面していたが、周辺が埋め立てられ、現在は閑静な住宅街の一角に建っている。時折コンサートが開催されることもあり、その音響効果は抜群である。「旧萩藩御船倉」は 1936 年から国定史跡に指定されており、2013 年には NHK 大河ドラマ「八重の桜」にも登場した。

住所：山口県萩市浜崎 3 丁目

電話番号：0838-22-0133

営業時間：旧山村家住宅にお問い合わせください

アクセス：「大船倉入口」バス停から徒歩 4 分（萩循環まあるバス東回り）

Google マップのリンクは[こちら](#)